

アメリカ最古の女子大 マウントホリヨーク大学

Mount Holyoke College
South Hadley, Massachusetts USA

アメリカの女子教育を代表したセブンシスターズの一つで、アメリカ最古の女子大学であるマウントホリヨーク大学は、女子教育の支持者の間ではよく知られています。1837年の創立から今までにわたって革新的な教育法を取り入れてきました。学生数は約2200名、多くの授業が20名以下で、しっかりと結び付いているコミュニティです。

マウントホリヨーク大学は色々な特徴がある大学で、日本の大学と異なる点が多いかもしれません。まずは、皆さんにその特徴について説明したいと思います。



Photo by Ryan Donnell

2021年春学期日本語3年生クラス

KJ・ルイス
K.J. Lewis

レベッカ・ジャン
Rebecca Zhang

カイリー・クイン
Kiely Quinn

エリン・レノン
Erin Lennon

目次

内容	ページ
- 目次	1
- マウントホリヨーク大学の特徴：まとめ	2
- マウントホリヨーク大学って、どんなところ？	3-4
- マウントホリヨークの生活	5
- FP（25歳以上の学生に対する奨学金制度）	6
- 独特で楽しい伝統行事の数々	7-8
- コロナウイルスとマウントホリヨークの生活	9
- 結論	10

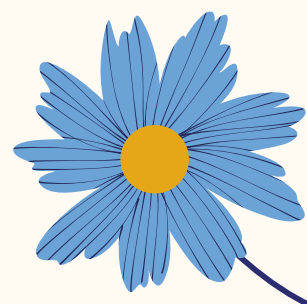


Photo from Mount Holyoke College

マウントホリヨーク大学 の特徴：まとめ

83カ国から留学生。全学生の約28%が外国籍です。

14の運動部と7つのクラブスポーツチームがあります。

最も人気がある専攻は、心理学、生物学、英語、コンピューターサイエンス、経済学です。

マウントホリヨーク大学で提供する11言語はもちろん、ファイブ・カレッジ・コンソーシアムから60以上の言語を勉強することができます。

48の専攻があります。その上、自分の専攻をデザインすることも出来ます。

約98%の学生はキャンパス内にある21の寮の一つに住んでいます。

授業の10%は10名以下、76%は20名以下、97%は30名以下です。

2019年秋現在、学部生は2,190名、大学院生は110名です。

800エーカー
(3.2平方キロメートル)
のキャンパスには、2つの湖、芝生の広場、スポーツジム、プール、ダンススタジオ、テニスコート、乗馬設備、森の乗馬トレイル、美術館、天文台などがあります。近くにはゴルフ場もあり、体育の一環として、乗馬やゴルフ、ダンスのレッスンを受けることも出来ます。

マウントホリヨーク大学って、どんなところ？

文責：KJ・ルイス

アメリカ最古の女子大学

マウントホリヨーク大学は、1837年にメアリー・ライオン（Mary Lyon）という女子教育の先駆者によって創立されました。身分や経済状況を問わず平等な教育を提供するという方針に基づくリベラルアーツカレッジです。アメリカ北東部のマサチューセッツ州にあり、セブンシスターズと呼ばれる名門女子大学7校の1校です。現在、この7校中5校が女子大学です。20世紀の初めまでは、アメリカのほとんどの大学は男子学生しか入学させませんでした。

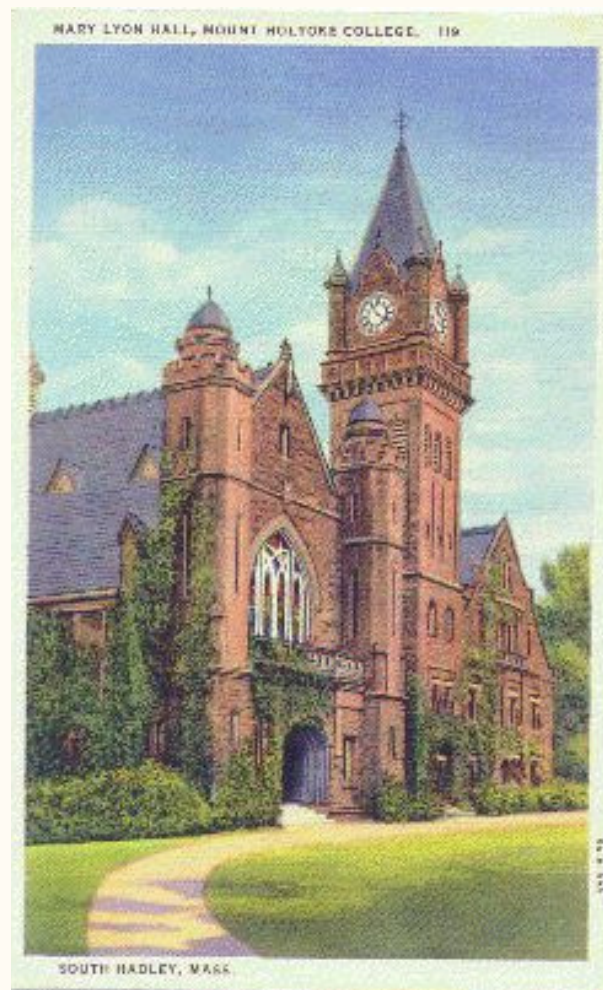
セブンシスターズが設立された時代、女性にとって教育の機会は少なかったのです。実は、1960年代まで、アイビーリーグの名門大学8校は男子学生しか受け入れませんでした。アイビーリーグの1校コロンビア大学は1980年代まで男子大学でした。そのために、セブンシスターズは、アイビーリーグの女性版として知られるようになりました。

マウントホリヨーク大学は、2014年から、アメリカの女子大学の中で初めてトランスジェンダーの学生も受け入れ始めました。トランスジェンダー歓迎のコミュニティがあり、在学している間にトランスジェンダーとしてカミングアウトする学生もサポートしています。その他にも、在学する前にカミングアウトした学生も受け入れています。

キャンパスには、様々なコミュニティをサポートしているカルチャーセンターがあります。例えば、LGBTのセンター（Jeannette Marks House）アジア系のコミュニティ（Asian Center for Empowerment）、アフリカ系のコミュニティ（Betty Shabazz Cultural Center）、そしてラテンアメリカ系のコミュニティ（Eliana Ortega Cultural Center）などのカルチャーセンターがあります。設立以来、違いを問わず様々な学生を歓迎しています。



マウントホリヨークの創設者、メアリー・ライオン
Photo from Mount Holyoke Archives



アビー・チャペルと時計台
Photo from Mount Holyoke Archives



1949年文芸批評セミナー
Photo from Mount Holyoke Archives



ファイブ・カレッジのロゴ

Images from (1) Five College Consortium, (2) Smith College, and (3) Hampshire College



PVTA、ファイブ・カレッジのバスライン
Photo from Daily Hampshire Gazette



ファイブ・カレッジの地図

Illustration by Nate Padavick

ファイブ・カレッジとは

文責：K.J. ルイス

マウントホリヨーク大学はファイブ・カレッジ・コンソーシアム（Five College Consortium）の1校です。ファイブ・カレッジ・コンソーシアムとは、ファイブ・カレッジと略されマサチューセッツ州西部にある私立単科大学4校と州立総合大学を1校を含む同盟で、マウントホリヨーク大学、同じくセブンシスターズの1校であるスミス大学、新島襄や内村鑑三の出身校であるアマースト大学、独特の教育を行っているハンプシャー大学、州立の総合大学マサチューセッツ大学アマースト校で成り立っています。これら5大学の学生たちが、自分の大学だけではなく、他の4校でも授業を取ることが出来る制度です。同盟は1965年に公式に設立されましたが、早くも1914年に協力的な取り組みが始まりました。

この制度のおかげで他のキャンパスで授業を取れるばかりか、各図書館から本を借りたり、学外イベントやサークルに参加したりするも可能性です。ファイブ・カレッジの学生であれば、大学間を結んでいる、PVTA（Pioneer Valley Transit Authority）と呼ばれる便利なバスシステムを使って、無料で他の大学へ行くことが出来ます。

マウントホリヨークでは、専攻と副専攻の他に、ファイブ・カレッジ証明書（Five College Certificate）とネクサス（Nexus）という修了証もあります。ファイブ・カレッジ証明書とは、複数の大学でクラスを取ることで修了証を完成するものです。ネクサスとは、副専攻のように授業16単位に、インターンシップが必須のプログラムです。自分の興味がある分野でマウントホリヨーク大学で専科がない場合にネクサスまたはファイブ・カレッジ証明書のプログラムに参加し、修了書を取得することが出来ます。

例えば、私の場合は主専攻を二つと工学のネクサスを一つ選びました。ある友達は専攻、副専攻、と仏教のファイブ・カレッジ証明書を選びました。工学と仏教の専科はマウントホリヨークにはありません。しかしファイブ・カレッジで授業を取り、証明書・修了証を取得することによって、卒業後、その知識があることを証明出来ます。さらに詳しい情報は、以下のリンクで確認してください。

ファイブ・カレッジ証明書:

<https://www.fivecolleges.edu/academics/faq/certificates>

ネクサス:

<https://www.mtholyoke.edu/acad/nexus>

専攻を一つだけ選ぶ人も多いですが、二つ目の専攻または副専攻を選ぶ人も少なくないです。そして、マウントホリヨークにない専科を学ぶため、ファイブ・カレッジ証明書またはネクサスを選ぶ人もいます。以下の表に書かれた点を参照してください。

卒業に必要なもの	下から一つを選ぶ	下から一つを選ぶ
専攻	二つ目の専攻	ファイブ・カレッジ証明書
	副専攻	ネクサス



マウントホリヨークの食堂

Photo by Kiely Quinn

マウントホリヨーク大学の学生生活

日本の大学生は1週間に5時間程度しか勉強しないそうですね！マウントホリヨークの学生達は、授業の他に、1週間に35時間ぐらい勉強します。寮に住んでいるのでたいてい学校で勉強しています。一番人気がある所は図書館と教室です。よく、学生達は友達やクラスメートと一緒に勉強します。

勉強以外、寮の広間で映画を見たりゲームをしたりパーティーをしたりします。日本では自宅に住んでいる学生が多いので、友達と駅のカフェとかレストランで会うそうですね。マウントホリヨークの学生もカフェ、レストランなどに行きます。でも、学食で食べる場合が多いです。食堂は、便利で、代金が寮費に含まれているので、学生たちは食堂に行くのが好きです。毎日朝7時から夜遅くまで美味しい食事ができます。午後8時から12時まではレイト・ナイト（Late night）と言って、ピザやチキンフィンガーなどがあります。料理が苦手な学生も空腹になることはありません。いくつかの寮には小さなキッチンもあるので、キッチンを使う学生達もいます。週末は、キャンパスですごしたり、いろいろなカフェやレストランがあるアムーストやノースハンプトンという町に遊びに行ったりします。

マウントホリヨーク大学には、映画、編み物、スポーツなど、100以上のサークルがあります。興味がある人は誰でもサークルに入れます。もし、好きなサークルがなかったら、自分でサークルを作れます。毎学期、自分たちのサークルを売り込んだり新しい会員を勧誘したりするためのサークル博覧会があります。

マウントホリヨークのキャンパスでは、授業の内外で、活動を楽しめますよ！



マウントホリヨーク大学の授業

文責：レベッカ・ジャン

マウントホリヨーク大学はアメリカのリベラルアーツ大学で、学生達は理系と文系の両方の授業を取ることができます。それで、それまで全く興味がなかった科目にも、授業後、興味を持つようになることもあります。これはリベラルアーツ大学の利点の1つです。マウントホリヨーク大学には、卒業のための必修科目があります。まず、1年生達はファーストイヤー・セミナーという1年生のための授業があります。1年生達は、ファーストイヤー・セミナーのリストから自分で選んだトピックを通して、論文の読み方、書き方を学びます。また、理系と文系、人文科学の授業をそれぞれ一つずつもとらなければなりません。また、外国語や多文化の授業も勉強しなければなりません。学生たちは色々な科目から授業をとって、自分の興味を見出すことが出来ます。

マウントホリヨークの学生はよく1学期に4つの授業をとっています。でも5つあるいは3つの授業を取っている学生もいます。授業1つは一般的に4単位で、合計で、1学期に12～20単位取得することになります。

学生は、授業を選ぶ前にアドバイザーに会います。アドバイザーとは、学生を助ける先生です。学生たちにはそれぞれ入学時にアドバイザーが割り当てられています。その後、専攻を決める時に、専攻学部の好きな教授を選べます。学生とアドバイザーは同じ科にいるので、アドバイザーは専攻の助言することが出来ます。



寮の玄関にいる学生達

Photo by Kiely Quinn



食堂の中

Photo by Kiely Quinn



サフォードという寮です

Photo from Mount Holyoke



学生の寮の中です

Photo from Mount Holyoke

FPとは、どんな学生？

ゲストライター：星野このみ (2020年12月卒業FP)

MHCは国籍、言語、人種、性別における多様性が高く、授業外でもたくさんのことを学ぶことができる環境があります。FPは25歳以上の女性が応募できるプログラムで、学費奨学金のサポートがあります。私は、そのコミュニティを通して様々な人生を歩んできた仲間と出会うことができました。母である人、妻である人、私と同じく留学生である人、職務経験がある人など、全員がそれぞれの人生経験を持つので、普通の年齢の学生にはない視点や、学びへのモチベーションを持っている人が沢山いました。彼女たちと話す、とても勇気づけられ、目標や勉学へのやる気が湧いてきたのを覚えています。卒業した今でも頻繁に連絡をとっており、お互いに応援し合い、支え合っています。FPのように、女性マイノリティーの人を支えるプログラムはどの大学にもあるわけではありません。FPプログラムの存在は、MHCがまさに多様性を大切にする学校だということを示していると思います。また、学び直しをしたいと思っても実際に行動できる人は限られています。特に日本では高校を卒業したら大学へすぐに進学し、卒業と同時に就職する流れが主流です。その中で学び直しをするために大学に戻るのとはとても勇気がいることです。しかしMHCはその道をサポートしてくれる本当に貴重な学校だと思います。FPのコミュニティ以外にもクラスで出来た友達や教授たちとの出会いもかけがえのないものでした。MHCの一員でいられたことは私の人生の誇りの一つです。



*FPとはフランシス・パーキンズ（有名なマウントホリヨーク卒者）の略語です。



コンボケーションの時のFP学生
Photo from Mount Holyoke College



フランシス・パーキンズの写真
Photo from Mount Holyoke Archives



コンボケーションの時のFP学生
Photo from MHC Forever Blog

独特で楽しい伝統行事の数々

文責：カイリー・クイン

国を問わずどの大学にも伝統があると思います。例えば日本の大学では文化祭があり、アメリカの大きい大学では、スポーツを中心した伝統が多いそうです。マウントホリヨークのような小さいリベラルアーツ大学にも、独自の伝統があります。学生達は、マウントホリヨーク大学に入るとすぐ伝統が大学の経験の大切な一部であることに気がつくでしょう。では、マウントホリヨークにはどのような伝統があるのでしょうか。

学年の伝統

新年度（秋）の授業が始まるに当たって、前日にコンボケーションという伝統行事が行われます。円形劇場に学生と教授が集まり学長のスピーチを聞きます。真面目な伝統のように思われるかもしれませんが、実は、とても賑やかな伝統行事です。まず、ある伝統を説明するとコンボケーションの賑やさが分かるかもしれません。マウントホリヨークではそれぞれの学年に色と動物のシンボルが与えられます。例えば、私は2021年の卒業生で、緑のグリフィン（ワシの上半身とライオンの下半身を持つ伝説上の生物）の学年と呼ばれました。卒業後、次の入学生達はその色と動物の学年になります。コンボケーションで学生達は、学年の色のTシャツを着ます。そしてコスプレをしている学生さえいます。四年生は何人も学年の色と共に卒業ガウンも着ます。

留学する学生が多い3年生はともかく、それぞれの学年に対して特別な伝統があります。1年生には、早くから大学の一部であると感じられる伝統行事があります。日本の大学では入学式があるそうですが、アメリカの大学ではほとんどありません。しかし、マウントホリヨーク大学には、入学式のような行事があります。オリエンテーション 101（Orientation 101）という行事で、講堂のバルコニーに先輩が集まり1年生が講堂を入るところに喝采を送ったり、紙吹雪などを投げたりします。その後一緒にマウントホリヨーク大学の生活についての芝居を見ます。

その他にも1年生を歓迎するために2年生が「エルフィング」という遊びをします。クリスマスの近く日に妖精のように（英語で言うところの

に当たる言葉）2年生が1年生の寮の部屋のドアを飾り小さいプレゼントを誰からかわからないように渡すのです。

4年生には卒業に関する伝統が多いです。色々があるけれど面白いのは卒業する前にマウントホリヨークの門を通ると卒業出来ないという迷信です。その迷信に基づいて、卒業してから校門の下で写真を取る学生が多いです。

食べ物の伝統

学年の伝統以外どの学年でも参加出来る伝統もあります。一つはマウンテン・デーです。マウンテン・デーは秋の行事ですが、それがいつなのか学長以外誰も知らされない行事です。朝早くキャンパスの教会の鐘が100回なったら、マウンテンデーであることがわかります。その日の授業が全部キャンセルされて、マウントホリヨークという山を登ったり、山頂で学長にもらったアイスクリームを食べたり、友達と写真を取ったりする伝統です。宿題や試験を気にせずにリラックスする日です。

アイスクリームに関係がある伝統と言えば、ファウンダーズ・デー（Founders Day）という創立記念日の日にも、マウントホリヨーク大学を創立したメアリー・ライオン氏を祝うために、キャンパスの真ん中にあるメアリー・ライオン氏の墓においてアイスクリームを食べます。食べ物と関係がある伝統はアイスクリームだけではなく月曜日から金曜日まで毎晩9時に寮でミルク・アンド・クッキーという伝統も楽しめます。ミルク・アンド・クッキーはM+C'sとも呼ばれ、牛乳とクッキーの略語です。9時になるとラウンジに軽食が用意されて、そこで、勉強から一息つくというものです。

マウントホリヨークは楽しい伝統行事を大切にしている大学として知られています。そういう伝統は変だと言う人もいるかもしれませんが、伝統を通してコミュニティが強くなります。大学規模の小ささにもかかわらず大学の伝統はいつも楽しくて大きいです。ここに書かれた伝統に限らずたくさん楽しい伝統行事があります。マウントホリヨーク大学に入ったら色々な伝統行事を楽しめますよ！



マウントホリヨークの校門

Photo by Kiely Quinn



ファウンダーズデーという創立記念日

Photo from Mount Holyoke College



マウンテン・デー
Photo by Skylar Hou



学年の色と動物シンボル
Image from Mount Holyoke College



ミルク・アンド・クッキー
Photo from The Gates Blog



パンギー・デーという学校の春祭り
Photo by Kiely Quinn



コンボケーション
Photo from Mount Holyoke College



オリエンテーション 101
Photo from Mount Holyoke News



マウントホリヨークの安全のために
Photo from Mount Holyoke College

パンデミック中、マウントホリヨークの留学生はとてもユニークな経験がありました。留学生はパンデミックの始めに自分の国に帰らなければなりません。そして、その国からオンラインの授業を取ることにになりました。だから、時差が大変でした。急速、朝8時から夜の10時まで授業枠が作られたとは言え、マウントホリヨークはアメリカの東時間帯なので、留学生たちはその時間に授業を取れるように生活を調整しなければならませんでした。

キャンパスは、2021年の秋学期に、オープンする予定です。皆さんがワクチンを受ければキャンパスでまた一緒に教室で授業を受けられるかもしれません。マウントホリヨークは秋学期には、 Semester 一制に戻ります。

コロナウイルスは生活に大きく影響があり、大きい問題です。パンデミックのせいで、いろいろな困難がありましたが、すぐよくなると信じています。



パンデミック中のキャンパスにいる学生
Photo by Skylar Hou

コロナウイルスとマウントホリヨークの生活

文責: エリン・レノン

コロナウイルスのパンデミックのせいで、マウントホリヨークの学生の生活は大きく変わってしまいました。それぞれの経験は違いますが、皆さん影響を受けています。

マウントホリヨークには、3つの大きなコロナの影響がありました。まず、2020年3月にキャンパスが閉まってしまいました。キャンパスに行けないので、誰にも会えませんでした。2番目は、オンラインの授業です。2020年秋学期にだれもキャンパスに行けなかったのも、家でオンラインの授業を受けなければならませんでした。2021年春学期には、学生の60パーセントぐらいはキャンパスに戻りましたが、授業の多くはまだオンラインでした。3番目は、2020-21年度の授業が、モジュールシステム (Module System) になったことです。パンデミック前、マウントホリヨークの1学期は14週でしたが、モジュールシステムに基づく学期は2つの7週モジュールに分けられました。1学期に4つの授業を取る代わりに、各モジュールに2つの授業を取るようになりました。これはとても大きい調整でした。

これらの違いは学生の生活に影響を与えました。例えば、キャンパスは閉まっていたので、コミュニティーとつながるのは難しかったです。寂しい思いをしていた人も少なくなかったでしょう。その上、マウントホリヨークの伝統行事が出来ませんでした。マウントホリヨークは色々な伝統があるのですが、例えばマウンテンデーやリングとバラ (Rings & Roses) という伝統が今年出来ませんでした。私はこれらの伝統が恋しいです。そして、入学のオリエンテーションと卒業式はオンラインで、残念でした。(オリエンテーションは一週間で大学の一年生がキャンパスに紹介されることです。) 私たちにとって、コロナウイルスの影響は、本当に大きかったです。



ズームで授業 (2021年春学期日本語3年生)
Screenshot by 根本菜穂子



KJ・ルイス

こんにちは！2022年卒業予定のKJ・ルイスです。専攻は物理学と東アジア研究で、ネクサスという副専攻のような修了証は工学です。ファイブ・カレッジ・コンソーシアムのおかげで、マサチューセッツ大学アムステルダム校で機械工学などの授業を取っています。今回は、このニュースレターの編集長を務めました。3年前、日本人の親せきと日本語で話せるように、日本語を勉強し始めました。日本映画同盟というサークルのメンバーとして、毎週友達と一緒に日本の映画を観ています。よろしくお願いします。

レベッカ・ジャン

初めまして！2022年卒業予定のレベッカ・ジャンです。専攻は東アジア研究です。クインさんと一緒にニュースレターのレイアウトを担当しました。高校生の時に日本人と友達になって、その友達と日本語で話したかったために日本語を勉強始めました。学校では、友達と一緒に食堂で夜食を食べるのが好きです。友達と一緒に勉強するのも好きです。週末は、友達と一緒にゲームをしたり映画を見たりします。よろしくお願いします。



カイリー・クイン

こんにちは！2021年5月にマウントホリヨークを卒業したカイリー・クインです。映画研究と東アジア研究を専攻していました。レベッカさんと一緒にニュースレターのレイアウトを担当しました。大学二年生の時、遠い国、日本に留学してみようと思って、日本語を勉強し始めました。2020年1月から3月まで京都の同志社大学内にある京都アメリカ大学コンソーシアムへ留学しました。マウントホリヨークで一番好きな所はキャッスルのように見える図書館です。図書館には小さいカフェもありますよ。よろしくお願いします。

エリン・レノン

こんにちは！2023年卒業予定のエリン・レノンです。専攻は文化人類学です。私はニュースレターのキャプションライターです。自由時間に絵を書いたり、友達と遊んだりするのが好きです。マウントホリヨークで一番好きなのは、そのコミュニティです。皆さん、とても親切な人です。よろしくおねがいします。



星野このみ

初めまして。星野このみです。私は日本で生まれ日本で育ちました。MHCにはFP学生として2018年の秋に編入し、2020年の年末に卒業しました。専攻は国際関係で副専攻は人類学です。よろしくお願いします。

結論

1837年からマウントホリヨーク大学ではリベラルアーツの精神に基づく女子教育を行なっています。入学後は、マウントホリヨークの授業ばかりかファイブ・カレッジ・コンソーシアム (Five College Consortium) を通して色々な授業を取ることが出来ます。マウントホリヨーク大学は全寮制なので、いつも同級生や先輩達と一緒にいられて楽しいです。日常生活の他に学校の伝統も楽しめます。マウンテンデーや学年の伝統などを通してコミュニティが強くなると言われています。2020-21年度はコロナウイルスパンデミックのせいでマウントホリヨークの経験が変わってしまいましたが、パンデミック後は、また伝統行事に囲まれた楽しい大学生活に戻れると思います。マウントホリヨーク大学の経験はそれぞれの学生さんによって違うかもしれません。しかし、国籍、宗教、専攻、年齢を問わず、夢がある女子学生またはトランスジェンダー学生なら、誰でも楽しめるでしょう。



Photo from Mount Holyoke College

マウントホリヨーク大学 でお待ちしています!

発行責任者: Naoko Nemoto (根本菜穂子)
nnemoto@mtholyoke.edu

Asian Studies Program, Mount Holyoke College
South Hadley, Massachusetts USA

2020年秋学期日本語学習者のエッセイ集『コロナウィルスと私』

<https://commons.mtholyoke.edu/japanesefall2020/>

もご参照ください